横浜都心部における
コミュニティサイクルの取組

内容

１．社会実験（H23～25年度）の概要
２．利用状況等
３．本格実施に向けた取組

１．社会実験の概要（H23～25年度）

長期社会実験の概要

- 期間：平成２３年４月２５日～平成２６年３月３１日
- 地域：みなとみらい地区、関内地区を基本
- 規模：**自転車３００台、貸出・返却拠点３４箇所**

- 体制：（実施主体）横浜市　都市整備局
  （運営主体）株式会社NTTドコモ

横浜都心部の概要

ベイバイク ポートマップ
みなとみらい地区
観光入込客数　約2.8万人／日（H23）
従業者数　約５万人（H21）
横浜駅
関内地区
観光入込客数　約1.2万人／日（H23）
従業者数　約12万人（H21）
横浜大飯店

横浜都心部の概要（鉄道）

駐輪場利用台数：計5,000台（H22）
放置自転車台数：計5,000台（H22）

目的と期待される効果

〈目的〉　〈効果〉

- コミュニティサイクル
  - 回遊性の向上
    - 観光振興
    - 地域の活性化
  - マイカーから公共交通への転換
    - 公共交通機関の利用促進
    - CO_2の削減

役割分担（協定書で定めている）

- 実施主体：横浜市の役割
  - ・社会実験の統括
  - ・実験実施に必要なサイクルポート候補地を確保
  - ・コミュニティサイクル推進のための広報
  - ・効果検証や調査　　など

- 運営主体：株式会社ＮＴＴドコモの役割
  - ・施設整備及び運営
    （サイクルポート設備や自転車等の設置、管理）
  - ・規模拡大のためのサイクルポート用地の確保
  - ・採算性向上のため、付帯する事業を実施できる
    （コミュニティサイクルの料金収入および付帯事業収入は運営主体の収入となる）　　など

ポート

ポートサイズ（７台）：約５ｍ×１．６ｍ
（１か所あたり駐輪機器　５～28台）

料金、時間

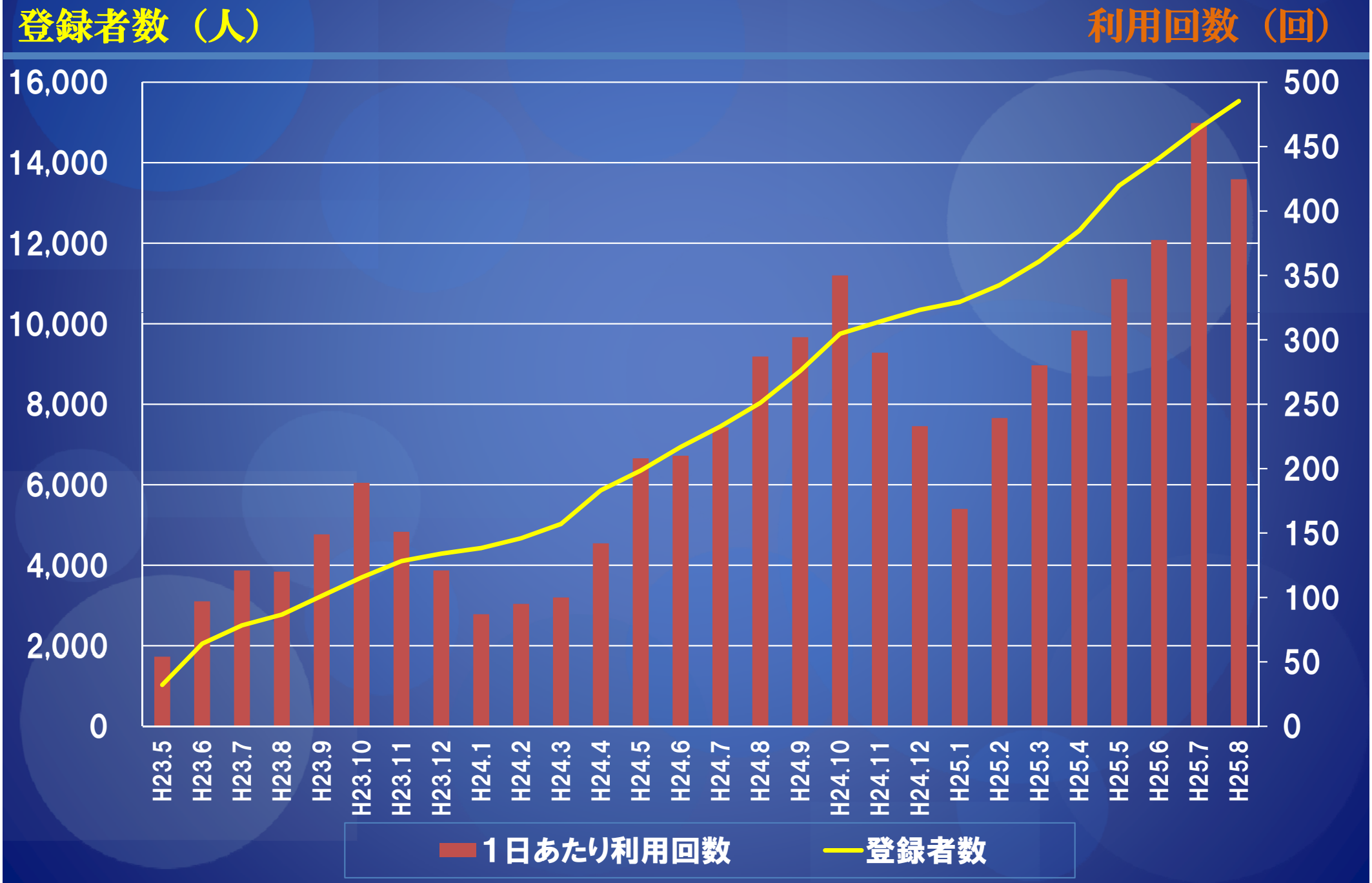
- 料金
  - 登録料金　無料
  - 利用料金

	基本料	利用料	予約
月額会員 プレミアム	1,575円／月	最初の60分　0円 超過30分毎　105円	ご利用の30分 前から予約可
月額会員	1,050円／月		―
１日会員	525円／日		―
１回利用	105円／回		―

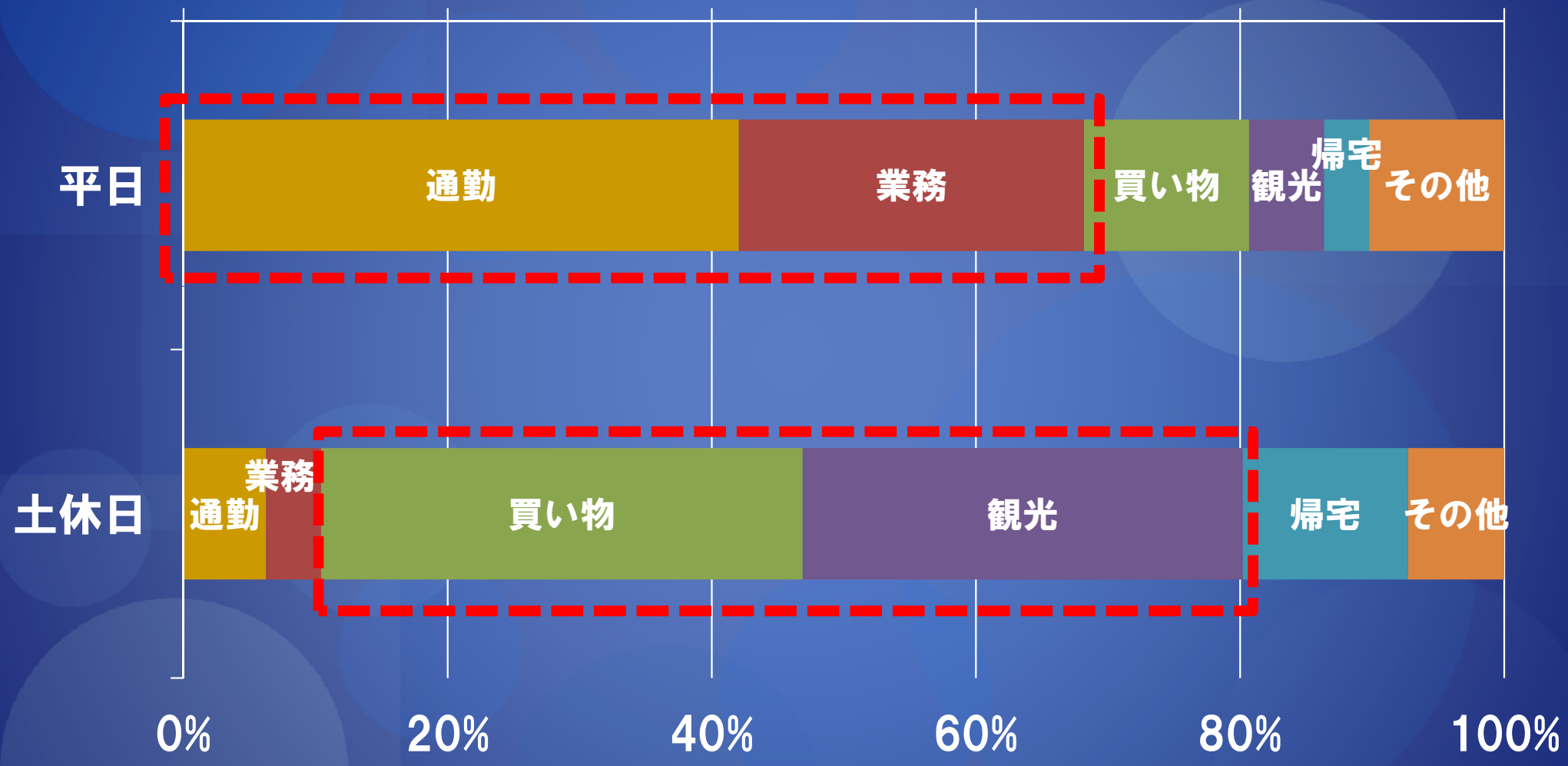
- 時間　７：００～２１：３０

２.利用状況・アンケート調査等の結果

登録者数、利用回数の推移



利用目的（利用者へのヒアリング調査）



主に、平日は通勤・業務に使われ、休日は買物、観光に使われている。

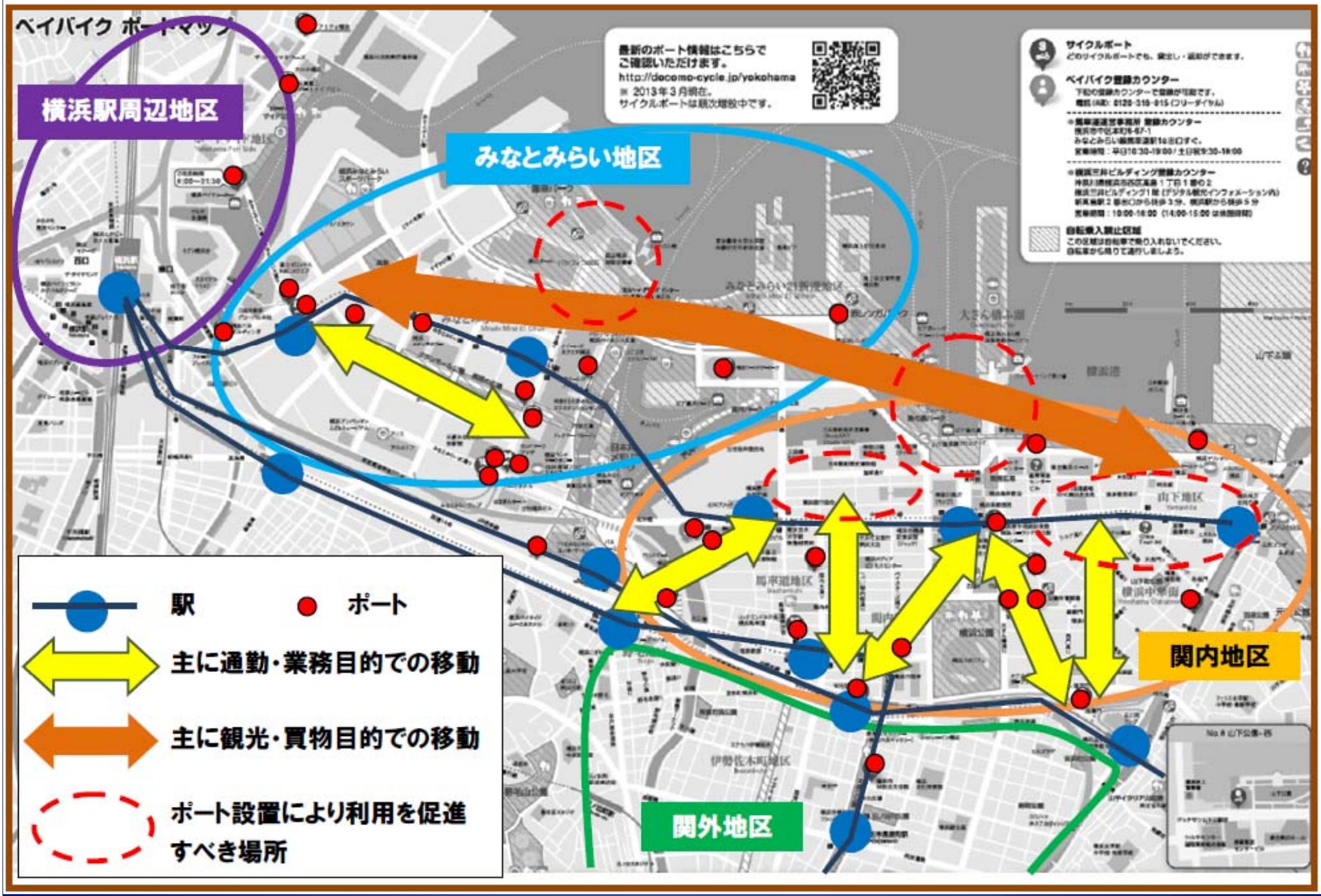
利用状況　平日
（H24.1～9　利用回数の多い移動）

横浜・新高島駅周辺とみなとみらい地区や関内駅と海側の移動が多い

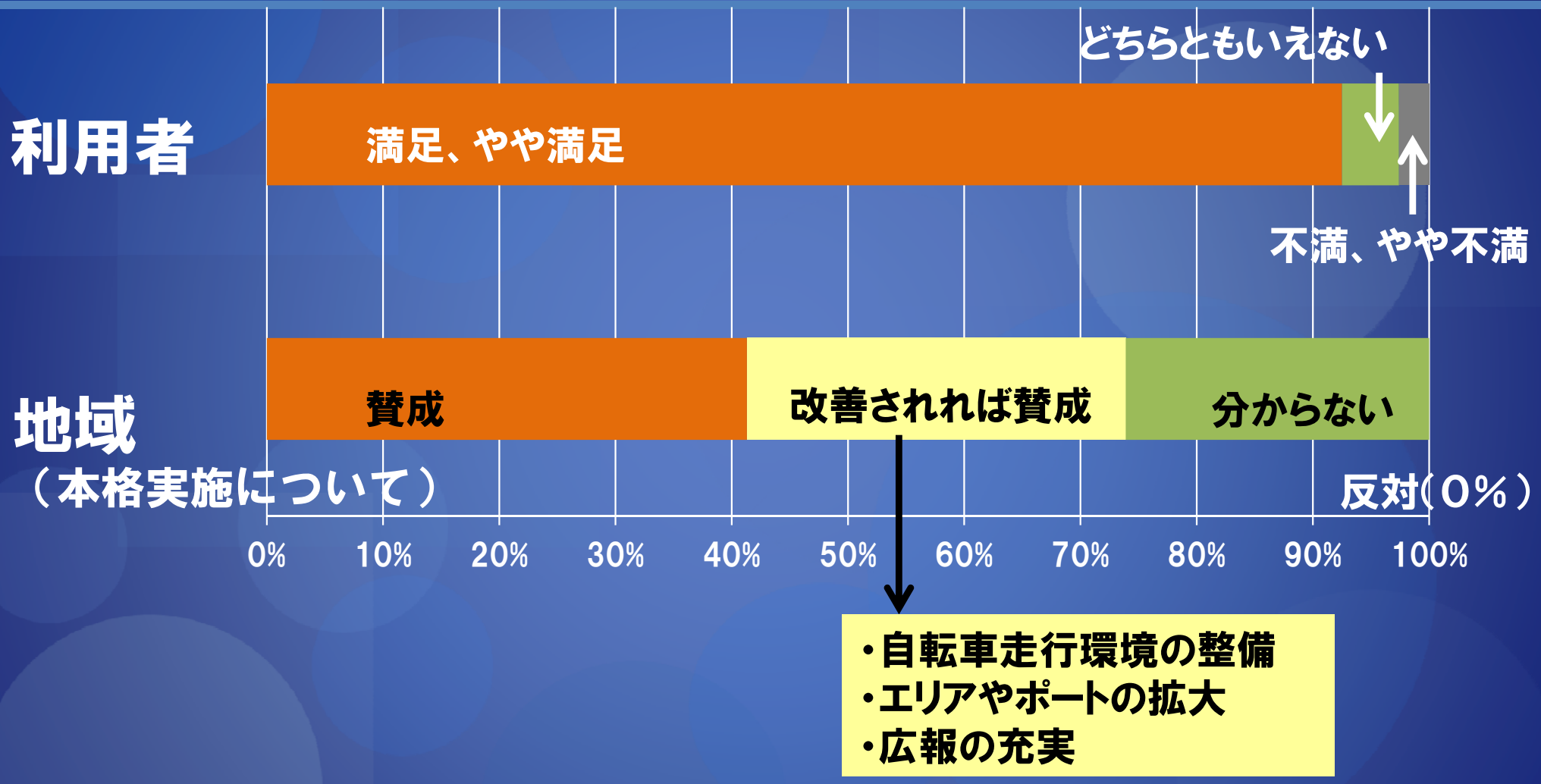
利用状況　休日
（H24.1～9　利用回数の多い移動）

新港地区など、海沿いの移動が増えている。
距離が比較的長い移動が増えている。

利用のイメージ


横浜駅周辺地区
みなとみらい地区
関内地区
関外地区
駅
ポート
主に通勤・業務目的での移動
主に観光・買物目的での移動
ポート設置により利用を促進すべき場所

コミュニティサイクルの評価

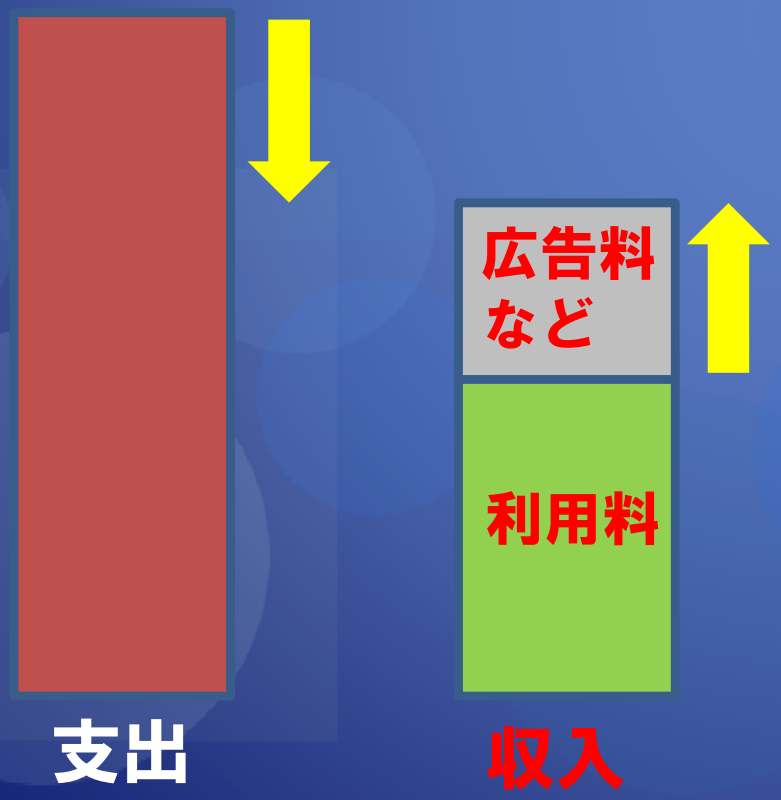


利用者の満足度が高く、地域も本格実施に向けた期待が高い。

3 .本格実施に向けた 取組

採算性の確保

- 自転車の**利用料**で採算性を確保することは難しい。
- 運営の効率化による支出減とともに、自転車の**車体広告など**の実施が必要。



ポート設置場所の質の向上と量の拡大

- 利用促進のため、**利便性・視認性の高い場所**に設置が必要。
- 利用回数の増加に伴い、利便性向上と運営コスト縮減のため、**ポート規模の拡大**が必要。